

目次

1. 調査の背景	1
1. 1 ホスト国におけるJCMの考え方	1
1. 2 企画立案の背景	5
2. 調査対象プロジェクト	6
2. 1 プロジェクトの概要	6
2. 2 ホスト国における状況	6
2. 3 プロジェクトの普及	16
3. 調査の方法	17
3. 1 調査実施体制	17
3. 2 調査課題	18
3. 3 調査内容	19
4. プロジェクト実現に向けた調査	22
4. 1 プロジェクト計画	22
4. 1. 1 プロジェクト実施体制	22
4. 1. 2 工事計画	24
4. 1. 3 運営計画	32
4. 1. 4 プロジェクト実施主体の経営体制・実績	33
4. 1. 5 事業収益性の評価	37
4. 1. 6 初期投資・維持管理及びMRVに関する資金計画	39
4. 1. 7 リスク分析	42
4. 1. 8 その他事業性に係る項目	42
4. 2 プロジェクト許認可	46
4. 3 日本技術の優位性	52
4. 4 MRV体制	55
4. 4. 1 キャパシティ・ビルディング	57
4. 5 ホスト国の環境十全性の確保と持続可能な開発への寄与	62
4. 5. 1 その他の間接影響	65
4. 6 今後の予定及び課題	65
5. JCM方法論作成に関する調査	70
5. 1 適格性要件	70

5. 2	リファレンス排出量の設定と算定、 及びプロジェクト排出量の算定	74
5. 2. 1	GHG排出削減量の手法	74
5. 2. 2	リファレンス排出量の設定	74
5. 2. 3	GHG排出源及びGHG種類	75
5. 2. 4	リファレンス排出量 及びプロジェクト排出量の算定の考え方	75
5. 2. 5	リファレンス排出量 及びプロジェクト排出量の算定式	76
5. 2. 6	モニタリングパラメーター	79
5. 2. 7	排出量削減量の事前予測値	81
5. 3	プロジェクト実施前の設定値	87
5. 3. 1	プロジェクト実施前の設定値及び設定根拠	87
5. 3. 2	リファレンス放散熱量とプロジェクト放散熱量 を事前設定値として特定するための確認テスト	88
5. 3. 3	リファレンス放散熱量の特定	96
5. 3. 4	プロジェクト保温材の（当初の）断熱効率の プロジェクト実施前の設定値の特定	100
5. 4	エネルギー起源CO ₂ 排出削減見込み量	107